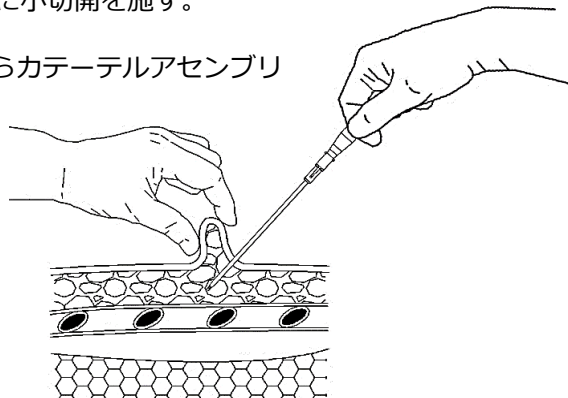
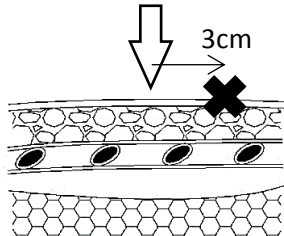


① 穿刺する肋間部位より尾側に3cmほどの位置に小切開を施す。

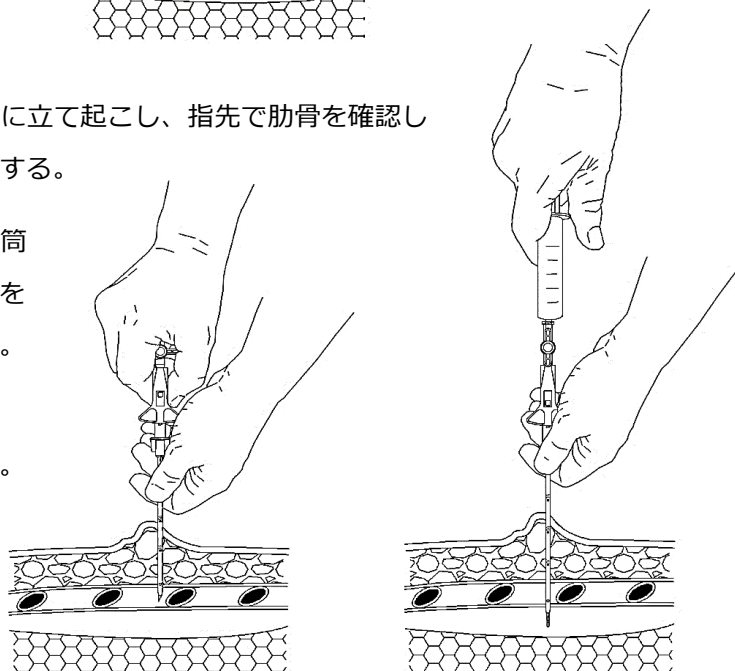
② 小切開からやや頭側の皮膚をつまみ上げながらカテーテルアセンブリを目的の肋間部位まで押し進める。



③ カテーテルアセンブリを胸壁に対して垂直に立て起こし、指先で肋骨を確認しながら針先を真下に向けて肋間へ軽く挿入する。

④ 針先が胸膜を通過する感触を得たら、注射筒を接続してコックを開栓し、胸腔内貯留液を引いて針先が胸腔内にあることを確認する。

⑤ カテーテルのみをさらに前方へ押し進め、胸腔内へのカテーテルの留置を確実にする。



⑥ カテーテルアセンブリを手前に倒してさらに所定の深さまで押し進める。

⑦ 内套針を抜去し、空気を逆流させないように素早く予めクランプした排液延長チューブを接続する。

⑧ カテーテルを皮膚へ縫合固定する。

